

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年11月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300450
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム 太陽の家
所在地	鹿児島県鹿屋市今坂町12405番地25 (電話) 0994-44-6581
自己評価作成日	平成23年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

保育園が隣接しており、毎日子供たちの笑い声を聞いたり、園庭で遊んでいる姿を目にすることができ、安らげる場所となっていると思います。運営者は人の絆やつながりが希薄になっている時代だからこそ絆を大切にしていきたいという思いで、高齢者福祉・幼児教育・園芸福祉に力を注いでいます。職員は入居者の思いに添えるように、目配り、気配り、心配りを行い、常に笑顔で真心込めた献身的な介護をめざし、入居者の「できること」に着眼し、自立を支援していきたいと考えています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年11月24日

- ・当ホームは、静かな住宅地の中に、同一法人の保育園や児童クラブに隣接して建てられた2ユニットのグループホームである。
- ・ホームと保育園は、垣根の無い庭続きとなっているため、利用者が庭に出て園児の様子を眺めたり、保育園の職員から利用者が見守られていたり、普段から自然な交流がなされている。
- ・ホームのユニット間の出入りは自由で、他のユニットの友人を訪ねて語り合ったり、窓から畑の作業を眺めたりしている。
- ・職員は、自立支援を重視した「できるだけ待って、できないところを段階的に支援する」ケアに取り組んでいる。
- ・医師の往診等の協力体制が築かれており、家族等の要望に沿って看取りも実施している。
- ・ホールを取り巻くように配置された居室は、職員が目配りが全体に行き届き、また、人の気配が常に感じられる環境で、利用者は安心して過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした共同生活住居を理念に掲げ、理念に沿った介護目標をホーム内に掲示し、職員は折に触れ確認しながら介護の基本となるように努めている。	地域密着型の理念をつくり上げ、ユニット内に掲示している。職員は理念に沿って、利用者に対して自立支援を第一に考えたケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し運動会や秋祭り、奉仕作業等に積極的に参加している。また、散歩や洗濯物を干す時など、挨拶を交わしたり、畑で苗植え時期などについて教えてもらっている	町内会の会合に出席してホームへの理解を得るように努め、行事には利用者と参加して地域との交流を図っている。また、散歩で挨拶を交わしたり、畑では作物の交換などもしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の学生の職場体験学習やボランティアの受け入れを積極的に行っている。また、認知症サポーターの養成や介護教室などで地域貢献できないか運営推進会議などで検討している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二か月に一回運営推進会議を開催し利用者の状況を報告したり、諸マニュアル作成に意見を頂いたり、利用者のサービス向上に努めている	定期的に運営推進会議を開催し、ホームの状況を報告するとともに、ホーム運営の方向性などについて意見をもらっている。その意見をもとに「行方不明・検索マニュアル」などの作成がすすめられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議で市の職員に参加してもらい、意見を頂き、今後のケアサービスに活かせるように努めている。生活保護者の近況報告も行っている</p>	<p>市の担当者は、日頃からホームの状況をよく把握し、ホームの運営が円滑にすすめられるように協力関係を築いている。生活保護及び介護保険関係の相談や情報交換等を担当者と詳細に行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会により、話し合いがもたれ、玄関の施錠を含め常に身体拘束をしないケアに取り組む職員同士で意見交換している。また、職員も学習会を行い、理解を深めている。</p>	<p>職員は、勉強会で身体拘束廃止についての理解を深め、玄関の施錠をしない等、拘束をしないケアに取り組んでいる。また、利用者が外に出た場合も、隣接の保育園職員を含めた目配りで把握でき、付き添って散歩する等、対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に身体拘束や虐待についての学習会を行い理解を深めると共に、管理者や身体拘束委員会を中心に職員全体で、身体拘束や虐待のない介護をおこなっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議に包括支援センターの職員が参加され、講演会の案内を頂き講習を受けたり、内部研修に取り入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には十分時間をかけて丁寧に説明している。重要事項説明書や契約書に基づき、ホームの理念や介護に関する考え方や活動、医療連携、看取りの指針など詳しく説明し、納得同意を得た上で契約をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回の家族会を通じて、要望や気づき等の意見を聞き、今後の介護に活かす様努めている。また、気づき箱を玄関に設置し、意見の抽出に努めている。	家族会や面会時に意見や要望を聞き、要望等の把握に努めている。要望等にはできるだけ沿うようにしている。また、申し送りノートに記載し、職員が情報を共有し運営に反映させるようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティングで気づきや意見を発表してもらい、今後の運営に反映させている。また代表者は年1回職員の個別面談を行い、職員の要望や希望を聞いている。	合同またはユニット毎のミーティングで、職員は意見等を出し、職員の意見や提案は、介護用ベッドの追加や風呂場の改修が予定される等、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者と法人内の5つのグループホームの管理者会を月1回開催し、代表者も職場や職員の状況を把握し、職場環境や条件の整備を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月ある内外の研修会に職員が積極的に参加できるように配慮してもらい、研修報告をミーティングで行っている。また、働きながらの資格取得も奨励し、勤務体制の調整などを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者はグループホーム連絡協議会の理事を務め、年1回の認知症セミナーの企画や研修会の運営に努め、他のグループホームと連携をとり、職員間の交流が図れるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談があった場合は、必ず事前に本人及び家族と面談し、心身の状態や、生活歴、要望などを把握しコミュニケーションをとり、施設見学をしていただいたりして、入居時の不安を和らげるように配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に、介護状況のこれまでの経緯や、ご苦労や悩みなどをお聞きして、施設の理念や介護目標、提供できるサービスなどを説明している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の段階で必要に応じ、その都度サービスの検討、支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	園芸や家事・季節の行事など生活場面で入居者から教えていただく機会を意識的に作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	夏祭り、クリスマス会、そうめん流し等一緒に過ごす機会を設けたり、家族とともに協力して入居者を支援していくことを確認している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある洋服、写真等本人が大切にされている物など置くようにしている。また、お墓参りなどその方にとって大切な人や場所などとの関係が続くように支援している。	利用者の希望で、住んでいた場所付近へのドライブをしたり、家族との墓参りなど、馴染みの場所への外出を支援している。また、親戚や知人・老人会等の馴染みの人の来訪を受け入れる等、大切な人との関係が続くように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合うお友達とおしゃべりが出来る様に、座る位置等考えて楽しく過ごせるように支援したり、お茶の時間など職員も一緒に参加し会話が弾むようになり組んでいる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な方は、退去後も、介護相談を受けたり、面会に行ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや希望を日常の会話の中で把握し、意向にそう様に支援している。把握が困難な入居者は、家族から情報を得たり職員のきずきを出し合い介護に反映させている。	利用者の昔話などの中から、思いや希望等の把握に努めている。食べたい物や好きな物を把握し希望に応える等、利用者の気持ちに沿うようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人のこれまでの生活歴や暮らしぶりを、家族や担当ケアマネジャーや包括支援センターの職員より情報を頂き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の生活歴や生活習慣、心身の状態を把握し、できることを見出し、本人の全体像の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1回ミーティングを開き、問題点を提起したり、職員の気づきなどを話し合い、家族の意見等も交え本人がより良く暮らせるように支援し、介護計画を作成し、モニタリングもおこなっている。	家族の意見は面会時や電話で聞き、介護計画に取り入れている。モニタリングは2ヶ月に1回、介護計画の見直しは3～6ヶ月毎に各ユニットのミーティングで実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や言動気づき、ケアの実践や結果などを個人表に記録し職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者個々の必要な日用品の購入や買い物支援、通院の支援をおこなっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に町内会長、民生委員、地域包括支援センターの職員、消防分団長に参加してもらい、地域の行事の情報や入居者の無断外出時のマニュアル作成等に助言をいただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の主治医の通院支援を行ったり、医療連携のための情報提供を主治医におこなっている。また、必要な人は、往診の体制を整備している。	事業所の協力医のほか、入居前からのかかりつけ医の受診支援を行っている。また、必要な入居者には訪問診療を受けられるように複数の医療機関と連携を密に結んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常で気づいた情報を職場内の看護職員に相談している。また看護職員は日常の健康管理を行い、医療面の助言、対応をおこなっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護サマリーを添付し入院前の経過を詳細に伝え、入院中は主治医、担当看護師、医療相談員と密に連絡を取り早期退院ができるようにつとめている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の指針を作成しており、契約時に時間をかけて説明している。また、終末期のあり方について、早い段階から家族の意向を確認し事業所できることを十分説明し、方針を共有し、必要な援助をおこなっている。	看取り指針に沿って、本人や家族の意向を踏まえ、状態の変化があれば、本人・家族に説明を行っている。また、主治医と連携し、全員で方針を共有し、安心して納得した最後が迎えられよう、支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に1回救命救急の訓練を受け、実践力を身につけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力を得て、避難経路の確認、避難誘導の方法。消火器の使い方、通報訓練を行い、地域の方にも参加してもらった。また、2～3か月に1回の割合で自主訓練も行っている。	年2回の避難訓練は、消防署の指導のもと、自治会の会合で協力依頼をしており、住民との協力体制が築かれている。また、避難誘導や初期消火等の自主訓練も実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の気持ちや権利を守ることを重視し、声かけや対応を行っている。利用者の誇りやプライバシーを損ねないように言葉かけに配慮している。	利用者の呼び方や方言等の言葉使いは、人格を尊重することを第一に、個々に合わせた対応をしている。排泄や入浴では、利用者の気持ちを傷つけないような言葉かけ等をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者に合わせた声かけをし、意思表示できない方は、表情を読み取りコミュニケーションを取りながら筆談で対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の一人ひとりの体調に配慮しながら入居者のペースに合ったレクリエーションへの参加を促している。(体操、ゲーム、散歩、色ぬり、カラオケ、買い物、草取りなど)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2～3ヶ月の割合で訪問理美容を利用している。 本人の希望に合わせてカットや毛染めをしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑があり、自家栽培の野菜と一緒に種まきし、収穫・草取り・下ごしらえをしている。楽しく食事が出来るように職員と一緒に食事を摂り、食後の片付けなど一緒に行っている。	できるだけ自家栽培の食材を使い、下ごしらえや後片付けなど、利用者と一緒に、食事を楽しめるよう、工夫している。咀嚼困難な方には、ミキサー食などで食べる楽しみを支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量や水分量をチェックし、記録に残し、職員が情報を共有している。必要に応じ、その人に合った飲み物を提供し、必要な摂取量が確保できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけを行い、自力で出来ない方は歯磨きシートなどを使い介助している。就寝前は義歯の清浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意のない方も排尿便パターンを把握し適宜トイレ誘導しトイレでの排泄ができるように支援している。状況に応じてオムツからパンツへの移行を促している。	排泄パターンを把握し、時間を見計らってトイレ誘導したり、動作や表情や他の小さな情報も職員全員で共有するようにしている。ポータブルトイレや紙パンツ・パットなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便管理を行い個々に合った便秘防止策を検討し実施している。食事の工夫や乳製品を取り入れたり水分管理や適度な運動をして自然排便を促している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回の入浴となっているが、その日の状態に合わせて柔軟に対応している。また入浴剤で温泉気分を楽しんでいただいている。	利用者のその日の体調や希望を確認して、入浴を支援している。入浴を拒む利用者には、入浴の順番を換えたり、曜日を変更したりして、心よい入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前中は活動的に体を動かすなどし、生活のリズムをととのえている。また、個々の疲労度や体調を観察し、昼寝や居室での休息を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や薬の説明書を整理し、どの職員が見ても内容を把握できるようにしている。変更があった場合は申し送りを行っている。投薬はダブルチェックしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるように、出来そうな仕事をお願いして、感謝の言葉を伝えている。</p> <p>高菜漬け・切干大根・そば作り・もち作り・経験や知恵を発揮できる場面を作っている。</p> <p>夏祭り、運動会など地域の行事に参加し楽しみを持って頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>温泉・みかん狩り・外食・散歩・出前・夏祭り・運動会・そうめん流しなど家族や地域の方の協力を頂きながら、外出支援などを行っている。</p>	<p>利用者の体調や天気を配慮して、保育園に続く前庭を散歩したり、隣接の畑の草取りをしている。また、いろいろな行事を利用してドライブ等、戸外にでかけるよう支援している。家族との墓参りや外食等も支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の協力で少額のお金を持っている方もいる。家族よりお金を預かりホームで管理して買い物に行く時は本人が使える様にしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族より電話が来たり、本人より要望があった時は、会話が出来るように、支援している。遠方の家族の方にはホーム便りや写真を送り喜ばれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自然な光や風を取り入れられるように、天窓を利用し、外の景色が見れるように、サッシを開けたり、季節の花を活け、居心地良く暮らせるように、工夫をしている。</p>	<p>玄関やリビングには、職員・利用者・家族・保育園児が手作りした絵や写真があり、窓からは大根やブロッコリなど、ホームの菜園が眺められる。自然光を取入れた共用の空間で利用者はテレビを見たり、ぬり絵を楽しんでいる。ゆったりと過ごせる空間が作られている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールでのテーブルやソファの配置、テラスのベンチの位置を工夫している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>寝具、洗面道具、時計、仏壇、家族写真、小物入れ等馴染みの物を持ち込み、安心して過ごせるように、配慮している。</p>	<p>居室は、利用者が使い慣れた物や大切な仏壇や家族の写真等が置かれ、希望者には畳や介護用ベッドの対応をしている。利用者にとって安心して過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、居室は、解りやすく、目印や表示をしたり、状況に合わせて、洗濯物たたみ、台所仕事を無理なく出来る様環境整備に努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない